

平成30年9月28日

「重要インフラの緊急点検」の実施について

9月 21 日(金)に開催された「重要インフラの緊急点検に関する関係閣僚会議」を受け、11府省庁において、重要インフラについて合計 118 項目(※)の緊急点検を行います。

1. 緊急点検の背景・目的

- 平成 30 年 7 月豪雨、平成 30 年台風第 21 号、平成 30 年北海道胆振東部地震<sup>いぶり</sup>等により、これまで経験したことのない事象が起こり、重要インフラの機能に支障を来すなど、国民経済や国民生活に多大な影響が発生した。
- 直近の自然災害で、インフラの機能確保に関して問題点が明らかになった事象に対して、電力や空港など国民経済・生活を支え、国民の生命を守る重要インフラが、あらゆる災害に際して、その機能を発揮できるよう、全国で緊急点検を実施する。

2. 緊急点検の対象とする重要インフラ

- 直近の自然災害で、問題点が明らかになり、国民経済・国民生活を守る、又は、人命を守るため、点検の緊急性が認められるものとして、以下の①～③を対象。
  - ①ブラックアウトのリスク・被害を極小化する必要がある電力供給に係る重要インフラ
  - ②電力喪失等を原因とする致命的な機能障害を回避する必要がある重要インフラ
  - ③自然災害時に人命を守るために機能を確保する必要がある重要インフラ

3. 緊急点検の実施概要

- 11府省庁において、重要インフラの機能確保について、118 項目(※)の点検を実施。  
(内閣府、警察庁、金融庁、総務省、法務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省)
- 平成 30 年 11 月末を目途に、対応方策をとりまとめ。  
別添資料1～2及び参考資料のとおり

※点検の実施項目は、今後、追加もあり得る。

「資料2 重要インフラの緊急点検 実施項目一覧」より今回の調査の該当項目

No.	分野	対象 インフラ	点検項目名	点検の概要	点検規模	府省庁名
103	教育	学校施設等	学校施設等の耐震性及び劣化状況に関する緊急点検	北海道胆振東部地震等を踏まえ、全国の学校施設等において、災害発生時の人命に関わる耐震性の有無及び劣化状況の緊急点検を行う。	全国の学校施設等	文部科学省